

活用策の比較・評価について

複数案について、これまでの住民参画による意見、専門家委員会での議論、議会調査特別委員会の意見・提言を踏まえ、評価項目ごとの評価結果に基づいて、機能や活用策等に応じ多様な観点から複数案の優位性を評価する。

○:効果がある、期待できる、評価する △:普通 ×:効果がない、期待できない、評価しない

大項目	小項目	評価基準	①多目的ホール			②市民が自由に使える屋内施設			③緑地公園に併設した屋内施設			④大震災時の避難地等を備えた緑地公園		
			○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×
1	全市民が利用することができる活用	全市民が利用することができる活用	5	1	0	5	1	0	5	1	0	6	0	0
2	にぎわい	若者の流出抑制・定住促進につながる活用	1	5	0	3	3	0	3	3	0	2	4	0
	創出・地域活性化への貢献	①拠点性	4	2	0	2	4	0	4	2	0	1	5	0
		②集客性	0	5	1	3	2	1	4	2	0	2	4	0
		③回遊性	1	2	3	4	2	0	4	2	0	6	0	0
3	財政負担の軽減	④既存施設競合	0	2	4	2	2	2	2	3	1	6	0	0
	⑤経済性	市の財政負担を極力少なくする活用	1	4	1	1	4	1	3	3	0	5	1	0
4	関連計画との整合性	⑥柔軟性	1	4	1	1	4	1	2	4	0	2	3	1
	⑦周辺環境との調和	周辺の歴史・文化環境と調和し、地域の魅力を高めることができる活用	0	1	5	0	3	3	2	3	1	6	0	0
		⑧公共施設経営	40年間で、施設面積約29%削減を目標とする公共施設経営への貢献が期待できる活用	1	4	1	1	5	0	2	4	0	3	3
		⑨創生総合戦略との関連	鳥取市が掲げる「ひとづくり」「しごとづくり」「まちづくり」の推進が期待できる活用											
総数			14	30	16	22	30	8	31	27	2	39	20	1

○活用策における優位性や課題

①	集客性は高いものの、経済性や公共施設経営に課題がある。
②	拠点性、回遊性が見込め、既存施設競合が避けられるものの、公共施設経営に課題を残す。
③	集客性・回遊性が高く、既存施設競合が避けられる。
④	既存施設競合、経済性、公共施設経営の観点で優位性が高い。